

平成18年度当初予算 施策別概要

553 公共交通網の整備

(主担当部：政策部)

55301	公共交通の利便性向上と利用促進	(政策部)
55302	鉄道の整備と利便性向上	(政策部)
55303	バス交通の確保	(政策部)

< 施策の目的 >

(対象) 公共交通機関が

(意図) 県民の日常生活を支え、交通渋滞の緩和や環境負荷の軽減に寄与している。

< 施策の数値目標 >

目 標 項 目		H15年度	H16年度	H17年度	H18年度
交通手段のうち公共交通機関を利用した人の割合(%)	目標値	14.2	14.2	14.2	14.2
	実績(見込み)値	12.4	10.8	-	-

移動する際、利用する輸送機関(自家用車、鉄道など)の総輸送人員のうち、公共交通機関で移動した人員の割合(国土交通省「数字で見る中部の運輸」)

< 平成18年度に残っている課題 >

地域の住民、とりわけ自らの交通手段を持たないお年寄りや学生にとって、無くてはならない交通手段である公共交通機関は、規制緩和や、モータリゼーションの進展により利用者の減少が進んでいます。

バスについては、路線の廃止や運行本数の削減が行われ、生活交通の確保が困難な状況が生じています。

鉄道については、中小鉄道事業者の経営基盤が脆弱であり、安全性の向上及びサービスの改善が課題となっています。

< 平成18年度の施策の取組方向 >

公共交通を単に交通手段としてだけでなく、地域社会を維持していくうえで、必要な社会資本であると捉え、地域経営という観点から総合的に考えていく必要があることから、住民・事業者・行政が地域づくりの一環として協働して取り組みます。

バス路線の確保については、最後の公共交通手段として地域の生活交通の確保に取り組む市町等の支援に努めます。

鉄道については、安全性の向上及びサービス改善が図られるよう国及び関係市町とともに取り組みます。

< 主な事業 >

(一新) 地方バス路線維持費補助金 (生活交通路線維持費補助金)

【基本事業名 : 55303 バス交通の確保】

当初予算額 : 264,100千円 220,930千円

事業概要 : 生活交通路線を運行する乗合バス事業者に対して補助対象経費の1/2以内を補助します。また、低床型車両等を生活交通路線に導入する乗合バス事業者に対して、補助対象車両購入費の1/2以内を補助します。(国との協調補助で国も1/2以内を補助する。)

地方バス路線維持費補助金 (第3種生活路線維持費補助金)

【基本事業名 : 55303 バス交通の確保】

当初予算額 : 33,692千円 30,875千円

事業概要 : 第3種生活路線を運行する乗合バス事業者に補助金を交付する市町に対してその交付する補助金の1/2以内を補助します。

地方バス路線維持費補助金 (市町村自主運行バス等維持費補助金)

【基本事業名 : 55303 バス交通の確保】

当初予算額 : 219,688千円 194,626千円

事業概要 : 市町がバス等を運行する場合に補助対象経費の9/20を補助します。

幹線鉄道等活性化事業費補助金

【基本事業名 : 55302 鉄道の整備と利便性向上】

当初予算額 : 100,000千円 102,000千円

事業概要 : 三岐鉄道北勢線について、駅周辺整備等沿線のまちづくり事業と連携した鉄道の高速度事業及び乗継円滑化事業に要する経費に対して、国及び市町とともに第3セクターへ補助します。

鉄道軌道近代化設備整備費補助金

【基本事業名 : 55302 鉄道の整備と利便性向上】

当初予算額 : 83,506千円 91,645千円

事業概要 : 伊勢鉄道、三岐鉄道など経営基盤の脆弱な鉄道事業者に対して、鉄道軌道に係る近代化設備の整備について、国及び市町とともに補助します。